

エコールみよた  
Clip Board



浅間縄文  
ミュージアム  
32-8922

谷川俊太郎さんの絵本朗読

『これはのみのびこ』、『ともだち』、『スイミー』などの多くの著書・訳書のある谷川俊太郎さんご本人による絵本朗読会。何が読まれるかは当日のお楽しみ。

日時:2月12日(日)午後2時~2時40分  
場所:エコールみよた あつもりホール  
講師:谷川俊太郎さん(詩人)  
聴講:子どもから大人まで(入場無料・申込不要、定員300名)



子どもと語る谷川俊太郎さん

■対談

「縄文にさぐる詩心・食べ心」

日時:2月12日(日)午後3時~4時20分  
場所:エコールみよた あつもりホール  
講師:谷川俊太郎さん(詩人)  
北沢正和さん(料理人)  
聴講:入場無料、申込不要(定員300名)

小林清助(谷水)米寿記念水墨画展

日時:2月17日(金)~26日(日)  
午前10時~午後5時(月曜休館)  
場所:エコールみよた 企画展示室  
三ッ谷の小林清助さんの水墨画展です。  
入場無料、ぜひお出かけください。

蔵書点検のお知らせ

図書館は2月6日(月)~10日(金)蔵書点検のため休館します。  
1月24日~27日に貸し出した図書は、3週間後の返却になりますのでご了承ください。  
休館中の図書の返却は、エコールみよた入り口の返却ポストをご利用ください。

2月のおはなし会の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)  
2月2日(木)・16日(木) 午前10時30分~  
おはなし会(幼児・小学校低学年向け)  
2月11日(土)・25日(土) 午前10時30分~

フレンドリー  
図書館  
32-0800

受講生募集

エコール  
みよた  
32-2770

公民館歴史講座

自然の地形を活かして作られた山城。現在はさまざまな形で利用されていますが700年前、そこは武士たちの戦いの場でした。

第1回 2月25日(土)  
「山城探訪の中から」  
御代田周辺の山城について

第2回 3月10日(土)  
「佐久地方の山城」  
戦国時代の佐久地方  
(侵略、統一など)

●講師  
元諏訪市教育長 宮坂武男先生  
(昭和29年~33年までの  
5年間、小沼小学校に在職)

●時間  
午後1時30分~3時

●会場  
エコールみよた 大会議室

●申込方法  
2月4日(土)午前9時から電話、窓口にて受け付けます。

●定員  
50名  
(定員になり次第締め切り)

問い合わせ先  
教育委員会生涯学習係(32)2770

# いきいき女性学級・生きがい学級合同講演会

公民館のいきいき女性学級・生きがい学級では、「充実した人生を送るために」をテーマにした講演会を開催します。講師は、落語家の立川談慶師匠です。震災から10ヶ月が経ちましたが、社会情勢の暗いニュースが絶えません。講演会をお聞きいただいた皆さまの「明日への活力」の一助になればとの思いでお話いただきます。講演と落語を聞くことができる貴重な機会ですので、ぜひ、ご近所・お友達をお誘いの上、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。  
※なお、駐車場が満車の場合は、町役場駐車場をご利用ください。

- 会場 エコールみよた あつもりホール
- 日時 2月19日(日)  
午後1時30分～3時(開場 午後1時)
- テーマ 「充実した人生を送るために」
- 講師



立川 談慶 師匠  
(上市市出身、落語立川流真打)  
演題  
「笑って世相を斬りましょう」  
(後半は落語を一席)

- 入場料 無料  
【当日は入場整理券が必要となります。  
エコールみよた窓口で配布中】  
※当日は入場整理券と引換でご入場いただきますので、忘れずにお持ちください。
- 主催 御代田町公民館
- 主管 いきいき女性学級運営委員会  
生きがい学級運営委員会

問い合わせ先  
教育委員会生涯学習係 (32)2770

BOOK  
コーナー

## ほんとに、いい出会い。

はじめて  
絵本の世界



『青い竜と黄色い竜』  
松谷みよ子／文  
遠山繁年／絵  
太平出版社

今年辰年です。十二支の中では唯一実在しない存在ではありませんが、絵本の中には可愛らしい姿から恐ろしい姿と、様々に描かれています。  
今回は竜の登場する昔話の絵本を紹介しましょう。

『青い竜と黄色い竜』  
昔、ある山の中に竜井という池があり、近くの村に弓の名人が住んでいました。  
ある夜、池の主である青竜が男の夢に現れ、黄竜という悪い竜を倒してくれるように頼んでいきました。夜明けに男が池へ行くと青竜と黄竜が闘い始めましたが、弓を射ることができません。  
次の日、男は矢じりを口に含み、神と父に祈りました。  
池に行く和二匹の竜は既に闘っていました。男が射た矢は黄竜にささり、青竜は黄竜を倒すことができました。  
お礼に、青竜は荒地に水田を拓けるよう、雨を降らせてくれました。



『ほしになつたりゅうのきば』  
君島久子／再話  
赤羽末吉／画  
福音館書店

『ほしになつたりゅうのきば』  
昔、ある村にじいさまとばあさまが住んでいました。二人には子がありませんでした。ある日、山から落ちてきた石の中から男の子が生まれ、サンと名づけました。サンはやがて立派な若者になりました。  
そのころ、南の山と北の海に兄弟の竜が住んでおり、桃の実を取り合つてケンカをはじめました。二匹が天に頭をぶつけた途端、天の竜の頭は破れてしまいました。天のさけめからは雨が滝のように降り、ひょうが石のように落ちてきたので、生き物は死んでしまいました。  
サンは天のさけめを繕うために、ウリユー山のクマ王の末娘を嫁にもらいに行きます。  
天を繕うには竜のきばの釘と角のつちが要るので、サンは南の山の竜からきばを、北の海の竜から角をとり、天へ向かいました。